

# 憲法と武器に、秘密保護法撤回と、実施せぬ の、国民の大きな共同、たたかいは広げましょう。

●10日夜、平和のための戦争後実行委員会が、**内藤 功**弁護士を迎えて講演会。内藤氏は、「60年余のたたかいで、きたえられた憲法が、私たちに**ある**」と力説。

- 早いものでね、もう12月中旬となりました。
- 安倍・自公政権による秘密保護法条強行の暴挙から1週間ですが、国民の反対の世論と運動は、さらに広がっています。
- 12月11日付「しんぶん赤旗」と紹介します。

## 秘密保護法認めない

# 学者3500人突破

2013年  
12月11日付  
「しんぶん赤旗」  
E版より

## 成立後も続々

秘密保護法の強行採決に反対する学者の  
声が、成立後もさらに大きく広がっていま  
す。特定秘密保護法に反対する学者の会  
の声明への賛同者は、学者3511人（10  
日現在）に達し、いままも増え続けています。

### 法案の成立を受けて「会」

は7日、秘密保護法の強行採決への抗議声明を発表し、「特定秘密保護法案に反対する学者の会」を、「特定秘密保護法に反対する学者の会」に改称。引き続き

秘密保護法に反対するとし  
ています。

声明は、秘密保護法を「憲法の定める基本的人権と平和主義を脅かす立法であり、日本の民主主義を戦後最大の危機にさらすもの」とし、強行採決されたことにたいし「深い憂慮と強い憤りを覚え、この暴挙に対する抗議」を表明していま

す。  
賛同者には、滋賀大学学

長の佐和隆光氏や和歌山大学学長の山本健慈氏も含まれています。このほかに院生、学生など1209人が賛同をよせており、合わせて4720人におよびます。

会の活動は、アメリカ力学振興協会の雑誌「サイエンス」にも掲載されました。

同会には、イベル賞の白川英樹、益川英尚氏。



記者会見する「反対する学者の会」の人たち＝3日、東京都千代田区

## 思い同じくする人広げたい

安倍政権の強行の大本には、「戦争する国づくり」があります。それを許すことはできません。今後も反対を続け、思いを同じくする人を5千人、1万人と広げたい。

民主主義の危機に、やむにやまれぬ思いで「学者の会」を立ち上げたのですが、あっという間に、かつてない賛同が広がりました。

「学者の会」よびかけ人 佐藤学 学大 教授



新しいのは、学会単位ではなく、一人ひとりが個人として声をあげ、それが連帯した太い動きになったことです。平和と民主主義を守ろうという憲法の精神が国民の中にしめわ

たっていることを証明しています。

その潜在的な裾野は、慎重審議を求めた国民8割に広がっていると思います。安倍政権が「憲法改正」を叫べば叫ぶほど、この声は広がる。秘密保護法成立で終わりではなく、今後につながる大きなたたかいになっていくと思います。



日本共産党北区議会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

2013.12.12.No.1187.

ご相談はお気軽に  
TEL とも 3905-0970  
FAX

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)  
日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144  
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

●都議選、参院選での日本共産党の躍進は、国会でも、都議会でも、世論と運動を背景に、大きな力を発揮した。●ぜひ「しんぶん赤旗」とご購読ください。



名は、ストレチア<和名>極楽鳥花  
パショウ科の観賞用草。

# 5000万授受前日に貸金庫契約

都議会委 徳留氏追及に知事

東京都の猪瀬直樹知事は10日の都議会総務委員会で、医療法人「徳洲会グループ」から5000万円の裏金を受け取る前日（2012年11月19日）に、妻名義で貸金庫を借りた事実を明らかにしました。日本共産党の徳留道信都議の質問に答えました。



質問する徳留道信都議 11月10日、都議会総務委

徳留氏は、都から補助金を受けている徳洲会からの無担保・無利子、返済期限のない5000万円提供は「贈与を受けたも同然だ」と追及しました。 「いつ、どのような目的で貸金庫を借りたのか」との質問に、猪瀬氏は「徳田に返金した時に、受領書も殺議員が11月19日に5000万円を用意するから明日取りにきてくれ」という電話をかけてきたので、妻に、入れ物がないので貸金庫を借りてくれと言った」と答えました。記録に残る銀行口座に預ける意思はなく、当初から現金のまま保管す

徳洲会グループの裏金問題と徹底追及  
そね都議含むチーム・日本共産党都議団  
●マスコミの注目は、秘密保護法とともに、猪瀬都知事にわたった、徳洲会マネーの追及へ。党議員団は徳洲会グループへの直接調査取材を重ねて、次々、新たな事実を明らかにしていける。

徳洲会

# 東電病院入札に参加

## 売却表明翌月 猪瀬知事に500万円

2013.12.7. 『おん赤旗』



質問する白石たみお 都議 11月6日、都議会

白石都議が追及 日本共産党の白石たみお都議は6日の都議会一般質問で、猪瀬直樹知事が徳洲会側から5000万円を受

け取った裏金疑惑について、猪瀬氏が東京電力に売却を迫り東電病院が行った競争入札に、徳洲会が参加していた事実を示し、追及

白石氏は、猪瀬氏が昨年6月の東電株主総会で東電病院の売却を激しく迫り、同10日に東電が売却を表明し、その翌月に猪瀬氏が徳洲会側から5000万

円の提供を受けた経過を指摘。白石氏は、徳洲会東京本部を訪ね、徳洲会側から「都心に徳洲会病院の旗を立てることが悲願だった。タイミング良く東電病院の話が出たので競争入札に参加したが、家宅捜索を受けたので辞退した。担当者が勾留されているので詳しいことは分からない」と説明を受けたことを紹介。

# 東電病院売却で便宜か

## 清水都議追及 徳洲会側に猪瀬氏

12/11付 『おん赤旗』

日本共産党の清水ひで子東京都議は10日の都議会総務委員会で、猪瀬直樹知事に対する医療法人「徳洲会グループ」の裏金問題で、東京電力病院（新宿区）の売却をめぐる

清水氏は、猪瀬氏が副知事時代の昨年6月の東電株主総会前日に、都福祉保健局に同病院への立ち入り検査を行うよう介入したことで、売却に道を開いたことを追及。都心進出を掲げる徳洲会が

「タイミング良く東電病院の入札があった」と述べていると指摘。徳洲会から5000万円の資金提供を受けた猪瀬氏が便宜供与をはかった疑いが強いと批判しました。

「JCI（国際病院評価機構）認証」取得支援を、猪瀬氏が「国家战略特区」で提案していた問題を追及。昨年11月6日に徳田虎雄理事長（当時）に面会のため湘南鎌倉総合病院を訪問した2時間前に、虎雄氏が同病院の設置を呼びかけました。



猪瀬直樹都知事（右）に質問する清水ひで子都議 11月10日、都議会総務委

て、猪瀬氏が便宜供与した疑惑を追及し

清水氏は、猪瀬氏が副知事時代の昨年6月の東電株主総会前日に、都福祉保健局に同病院への立ち入り検査を行うよう介入したことで、売却に道を開いたことを追及。都心進出を掲げる徳洲会が

「タイミング良く東電病院の入札があった」と述べていると指摘。徳洲会から5000万円の資金提供を受けた猪瀬氏が便宜供与をはかった疑いが強いと批判しました。

「JCI（国際病院評価機構）認証」取得支援を、猪瀬氏が「国家战略特区」で提案していた問題を追及。昨年11月6日に徳田虎雄理事長（当時）に面会のため湘南鎌倉総合病院を訪問した2時間前に、虎雄氏が同病院の設置を呼びかけました。

認証取得の報告を受けた事実を指摘。「虎雄氏との面会で、JCI認証の話が出なかったのか」と追及しました。猪瀬氏は「認証の話は出なかった」と答えましたが、清水氏が「一言も出なかったのか」と再三確認すると、「覚えていない」と答弁を交えました。清水氏は「質問にまともに答えていない」と批判。徳洲会関係者や特別秘書らの参考人招致や、強力な調査権限を持つ調査特別委員会（百条委員会）の設置を呼びかけました。

12/5付 NO.1184 「さくらレポート」は、読みづらくて申しわけありませんでした。介護保険の国・政府の改悪案の事例を示した。私の質問内容でしたが、12/11付で、

北区をふくむ、23区特別区長会が、厚生労働省に対して、「緊急要望」を提出しました。地域包括ケアセンターの強化を目指す  
①詳細内容を明らかにせよ ②必要な財源と施策 ③